

第一コンサルタンの活動

2024年版



総合建設コンサルタント
DAI-ICHI Consultants Co.Ltd.

ご挨拶

令和6(2024)年は正月の元旦に、能登半島でマグニチュード7.6、最大震度7という地震が発生し、関連死を含め400名を超える犠牲者がでました。8月には日向灘で地震があり、南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が発令され、日本中が大混乱に陥りました。

夏には全国各地で記録的な暑さによる農産物被害、線状降水帯による豪雨災害がありました。7月には松山城のある公園の斜面が崩壊し、3名が亡くなりました。

災害列島日本の国土の脆弱性を改めて思い知らされた1年でした。

当社は、「高知のインフラを守る」「高知を地震・災害から守る」「高知のコミュニティを守る」ことをミッションにしています。

ビジョンとしては、「社員が幸せを実感できる会社」「お客様から信頼される会社」「地域の人びとから愛される会社」を掲げています。

これらの経営方針がどの程度実践できたかを検証する目的で、当社の1年間を振り返って見ました。

令和6年12月28日



代表取締役 右城 猛

2024年 年頭の挨拶と土佐神社参拝 1月4日



8時30分、福利厚生棟のタイガーホールに社員全員が集合。右城社長から、「今年の干支は辰。『龍となれ、雲自ずと来る』という言葉がある。高い志を持って必死に行動しておれば、仲間や資金が自然と集まってきて願いが叶う。龍になれるように頑張ろう」と年頭の挨拶があった。

幹部社員で土佐神社に参拝。社員全員の抱負を書いた巨大絵馬を奉納し、社内安全と社業繁栄を祈願した。

会社創立60周年を記念して石柱を寄進。「一金壹百萬円也」の文字が刻まれていた。

第23回 国営讃岐まんのう公園リレーマラソン出場 1月21日



Aチーム



1周2kmのコースをリレーして21周する



Bチーム

2018年の第19回より連続で参加。5回目となる今回は、2年連続の入賞を目指す「Aチーム」と、完走を目指す「Bチーム」が出場した。

Aチームは2時間51分23秒。総合では121チーム中の第18位、職場仲間部門では56チーム中の第5位。

Bチームは、3時間43分09秒。総合では第99位、職場仲間部門では第48位。

令和6年能登半島地震に伴う災害測量の応援に出発 1月24日



1月24日に会社を出発した先発隊



KUTVテレビ高知のニュース番組(2月15日18時15分から放映)

1月1日16時10分、石川県の能登半島でマグニチュード7.6、最大震度7の地震が発生した。現地調査が可能になった1月24日から、4名の測量班が石川県の宝達志水町に入り、極寒と積雪の中で地震被害調査を開始した。

2月15日にKUTVテレビ高知から取材があり、夕方6時15分のニュース番組で放映された。その映像は全国で見られるようにTBS NEWS DIG にアップされている。

第23回高知県建設技術研究発表会で奨励賞を受賞 1月26日



橋梁構造課の吉田萌主任が「小規模橋梁におけるUAV点検手法の実践」、河川砂防課の有友大貴が「浸透流解析による河川護岸背面における残留水位の挙動特性」と題して発表。二人とも最優秀賞には選ばれなかったが、奨励賞を受賞した。また、防災まちづくり課の岩瀬誠司が共同執筆した「吾岡山における傾斜地での遊具広場整備の取組について」が特別賞を受賞した。

高知龍馬マラソン 2月18日



7人の出場選手



応援団



第一コンサルタンツからは、吉田直起、高橋祐也、横山成郎、西川徹、山本直也、尾崎勝彦、中山大翼の7名が出場した。

県住介良団地防災会 防災講習会で松本部長が講師 2月28日



第一コンサルタントは、「災害から地域の人々の安心・安全な暮らしを守る」ことをミッションとして掲げている。

高知県営住宅介良団地防災会より防災講習会の講師の要請があった。

設計部の松本洋一部長が、ハザードマップや能登半島地震の事例などを用い、南海トラフ地震や洪水などの災害が発生した場合、①住民は、どこに避難すべきか。②住民は、誰に助けを求めるべきか。について説明をした。

高知県営住宅介良団地で講演をする松本部長

介良野地区の田役に社員26名が参加 3月3日



本社がある高知市介良野地区は、野中兼山が江戸時代に灌漑用水を整備して大穀倉地帯になった香長平野の西端に位置している。

毎年、3月の第1日曜日には用水路の上流をせき止めて一斉清掃をしている。

第一コンサルタンツでは、本社を移転させた翌年の2016年から介良野自治体の要請を受けて、毎年、野球部が中心になって田役をしている。

今年も社員26名が灌漑水路の清掃活動に参加した。

地方自治体の首長から感謝状を授与される



香南市の濱田豪太市長から、香南市野市東防災コミュニティセンター及び香宗分団消防屯所の宅地造成設計に対して感謝状授与(3月31日)



南国市の平山耕三市長から、南国市吾岡山文化の森公園の法面設計に対して感謝状授与(6月28日)



会社創立60周年記念事業で、本山町に「企業版ふるさと納税(500万円)」。澤田和廣町長が当社までわざわざ来社され、感謝状を授与して下さった(4月22日)



南国市の平山耕三市長から、新くすのき橋の設計に対して感謝状を授与された(9月22日)

8名の新入社員を迎えて入社式と歓迎会 4月1日



愛媛大学と合同で能登半島地震の被害調査 1月～4月



輪島 朝市通りの火災現場



倒壊した漆器店「五島屋」の7階建てビル



液状化で飛び出した「のと里山空港」の燃料タンク



珠洲市三崎町紀の川の護岸

第1班 1月25～29日
矢田康久、片山直道、北村暢章

第2班 4月6～10日
構造物調査班
右城猛、三本高義、小笠原明弘、片山直道、
吉田萌
防災減災班
森田徹雄、松本洋一、長崎悟史、堀田朋男
斜面・地盤班
西川徹、須内寿男、上野将司、北村暢章

第3班 4月18～21日
片岡寛志、児玉翔、乾隼輔

土木学会から「ニッポンを支える匠と技」の取材 4月22日



土木学会誌の連載記事「ニッポンを支える匠と技」として、「擁壁設計の匠」として右城猛社長を取材するため、土木学会から二人の編集委員が来社された。

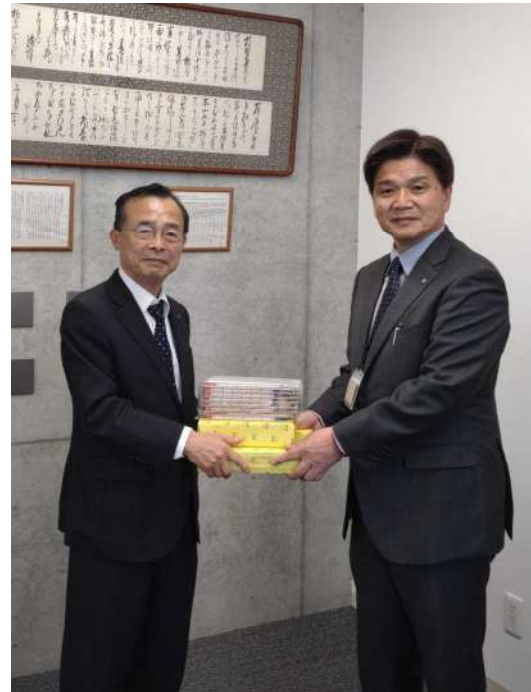
右城社長は1950年生まれ。これまで、『擁壁設計』に関する専門書を15冊出版している。インタビューには、今年、当社に入社した8名の新入社員にも同席してもらった。

取材記事は、『土木学会誌』2025年3月号に掲載されることになっている。

小学新一年生に「さんかく鉛筆」を贈呈 4月4日、24日



大石雅夫・大豊町長



澤田和廣・本山町長



和田守也・土佐町長



高知市立介良潮見台小学校

大豊町、本山町、土佐町を訪問し、大豊学園、本山小学校、吉野小学校、土佐町小学校、高知市立介良潮見台小学校の新一年生に「さんかく鉛筆」を贈呈させていただきました。

この活動は、「全国で一番、えんぴつを正しく持てる高知県にするため、高知県下の新一年生全員にさんかく鉛筆を届ける」という株式会社コッコ・サンの理念に賛同して2015年から実施している。

高知県測量設計業協会「親善ソフトボール大会」 5月10日



開会式では、前年度に優勝した第一コンサルタンツ「Aチーム」を代表し、道路交通課の矢野川稔副キャプテンが優勝旗返還をした。

続いて、インフラ調査課の公文海斗キャプテンが選手宣誓を行った。生成AIに教えてもらった選手宣誓は、出場選手を鼓舞し燃え上がらせ、参加者から拍手喝采を浴びた。

今年は、主力選手が能登半島地震災害調査に行っていたため、残念ながら優勝をすることができなかった。来年こそは優勝旗奪還に向けて頑張ろう。

社員が幸せを実感できる会社

社内木鶏会 (第1 金曜日17時～18時) を開始 5月13日



第一コンサルタンツを何百年も続く不滅の企業にしたい。そのためには人間力に優れた人材の育成が不可欠であると考え、「社内木鶏会」を立ち上げた。月刊誌『致知』をテキストにして人間学を学び、お互いが学んだことを発表し、それに対して美点凝視で話し合うことにしている。

北陸支援のため富山県・石川県へ2泊3日の社員旅行 5月



第1班(5月9～11日)



第2班(5月16～18日)



第3班(5月23～25日)

社員旅行は、例年3班に分かれて社員が希望する場所に行っている。

今年は、元旦に発生した能登半島地震で北陸地方に甚大な被害が生じていることから、少しでも経済復興に貢献できればとの思いで3班とも富山県・石川県に決定した。

「天気」「料理」「宿泊施設」に恵まれ、「日本は素晴らしい。最高」を実感できる旅行であった。

土木学会四国支部の技術研究発表会で社員3人が発表 6月1日



高知工科大学で「令和6年度 土木学会四国支部 第30回技術研究発表会」が開催された。当社からは3名が研究発表をした。

- 沈下橋に生じたひび割れの原因推定と対策 (橋梁構造課 児玉翔)
- 浸透流解析による河川護岸背面における残留水位の挙動特性(河川砂防課 有友大貴)
- トンネル点検業務における損傷スケッチ代替え手法の開発(調査測量課 久徳李夢斗)

令和6年度土木学会四国支部総会では、令和5年度四国支部賞の表彰式があり、当社から3件の論文が受賞した。
【技術開発賞】トンネル点検業務において、二次元覆工画像展開図を作成する手法を開発した公文海斗、西村修、尾崎勝彦の論文が受賞。

【技術活用賞】小規模橋梁の点検にUAVを用いた手法を実践し、その効果と課題について提案した乾隼輔、片山直道、西村紘寛の論文と、低水流量の観測にADCPを用いて精度と効率を向上させた中山大翼、西村修、尾崎勝彦の論文が受賞

令和6年能登半島地震被災調査報告会で社員5人が発表 6月6日



愛媛大学主催による「令和6年能登半島地震被災調査報告～その実態から南海トラフ地震対策を再考する～」と題した講演会が高知会館で開催された。

愛媛大学防災情報研究センターと当社が合同で4月初旬に実施した被災調査の報告会である。

当社からは、森田徹雄、西川徹、松本洋一、小笠原明弘、片山直道の5名が登壇し、各分野の技術者目線で報告を行った。

「とんかつ源三」ランチデー（第2金曜日）を開始 6月7日



2018年6月21日から毎週木曜日をランチミーティングデーとし、バイキング形式の会食にした。

2020年に入って新型コロナウイルス感染症が拡大したことから、応援ランチデーに切り替えてホテルや居酒屋などの弁当を注文していたが、2021年度より完全に中止していた。

今年の6月より第2金曜日に福利厚生棟の食堂で、「とんかつ源三」のトンカツ定食を食べながら会食をすることにした。

能登半島地震第二次調査団現地調査報告会で片岡次長が発表 6月11日



高知大学防災推進センター、高知県危機管理部高知県土木部の主催で「令和6年能登半島地震第二次調査団 現地調査報告会 ～早期復興に対する課題と解決策～」と題して講演が行われた。

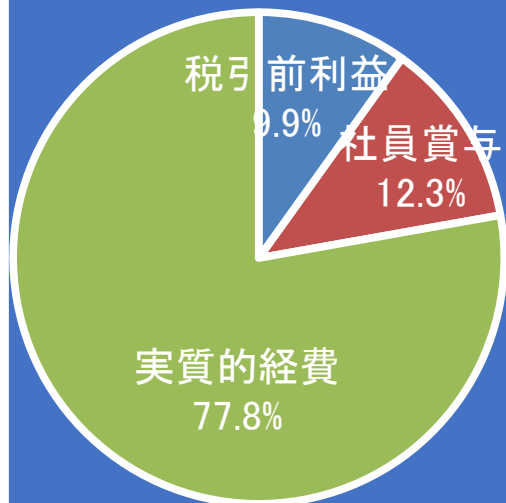
本報告会は、4月19日より高知県防災推進センター、高知県危機管理部、高知県土木部、県内外の民間企業合同で結成された災害調査団による奥能登地域を中心とした第二次現地調査の報告会。

第一コンサルタントからは、河川砂防課の片岡寛志次長が、河川及び周辺構造物の被害と課題について発表をした。

第17回 経営方針発表会を開催 7月6日



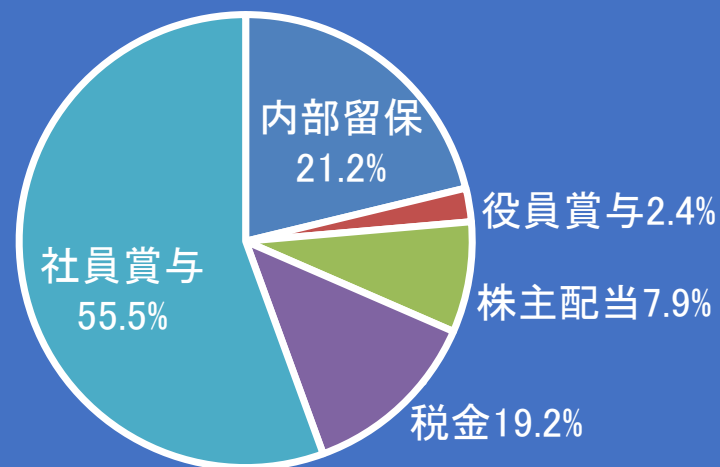
売上高21.46億円



実質的利益

22.2%

実質的利益4.76億円の配分



当社では毎年、7月第1土曜日に経営方針発表会を開催。

前年度の売上高と利益配分について説明をすると共に、今年度の経営目標を説明した。

各部、各委員会が昨年度の実績、今年度の計画を発表した。

防災教育に関する3社連携協定締結式

7月14日



第一コンサルタンツ、高知丸高、高知銀行の3社で防災教育に関する連携協定締結式を行った。

締結後には、最初の一歩として高銀防災セミナーを実施。

高知銀行員約100名に参加いただき、当社からは調査部酒井部長が「ドローンを用いた災害調査」の講演とドローンのデモ飛行を行った。

親睦会主催の恒例ボウリング大会 7月19日



親睦会総会の後、ラウンドワン高知店に移動し、ボウリング大会を開催。

昨年度チャンピオンの河川砂防課 有友が始球式。見事スプリットで始まった。

ボウリング大会の後は、懇親会。本大会を企画・運営してくれた親睦会役員の皆様本当にありがとうございました。



第26回須崎市ドラゴンカヌー大会に出場 8月4日



この大会は、須崎工業高等学校造船科の生徒が作った1隻の龍舟を須崎市に寄付したことがきっかけで、1999年から毎年、開催されている。大会のスポンサーはアサヒビール1社であったが、2016年の第18回大会から当社も加わり2社のスポンサーで開催されるようになった。2016年からは、当社も野球部のメンバーが中心になり大会に出場している。

88クリーンウォーク四国に社員60名が参加 8月8日



当社では毎月、第一月曜日の朝礼の後で、社員全員が会社周辺の道路の清掃をしている。

8月8日のクリーンウォーク四国には、7時～8時までの1時間、会社の周辺の道路、国道32号の除草、清掃を実施している。

今年は、社長をはじめ約60名の社員が参加した。

よさこい鳴子踊り第一コンサルタンツチーム 8月10、11日



防災学習会「能登半島地震から学ぶ」で松本部長が講演」9月1日



介良小学校区防災連合部会の主催で「防災学習会 ～能登半島地震から学ぶ～」が開催された。当社からは設計部の松本洋一部長が講師として出席し、能登半島地震の被害状況や南海トラフ地震が発生した場合に介良地区で起こり得ること、南海トラフ地震に向けた備えについて講演をした。

社員全員でシェイクアウト訓練を実施 9月2日



高知県南海トラフ地震対策推進週間(8月30日～9月5日)に合わせて開催された、高知県シェイクアウト訓練。いざという時のために、とっさに自分の身を守る行動を身につけ、地震発生時における適切な行動の習得を目的としている。

午前10時に社内放送を実施し、社員全員で①姿勢を低く、②頭を守り、③動かないの3つの安全行動を実施した。併せて、安否確認システムを使った訓練も行った。

令和6年度 社内研究発表会 9月21日



16編の一般発表、BIM/CIM取得強化チームによる特別発表「BIM/CIMの動向と当社の展望」があり、最後に高知県議会議員の大石宗氏に「つながる高知の物語」と題した特別講演をしていただいた。今年度の最優秀発表賞は地質調査課の北村暢章が受賞、優秀発表賞には河川砂防課の有友大貴、橋梁構造課の三本高義が選ばれた。また、社員賞にはPPPチームの大橋紀輔が選ばれた。

愛媛大学の防災シンポジウムで社員3名が発表 10月8日



えひめ建設技術防災連携研究会と愛媛大学防災情報研究センター主催の防災シンポジウム「大規模自然災害に備える」が愛媛大学であった。当社の社員3名が発表した。

令和6年能登半島地震の地殻変動による災害と教訓ー主に山岳トンネルについてー

取締役地盤技術部 部長 西川徹
(愛媛大学 特定教授)

令和6年能登半島地震の応急期から復興に向けた対応と教訓

取締役設計部 部長 松本洋一
(愛媛大学 特定教授)



令和6年能登半島地震における橋梁被害から見る耐震補強の効果と緊急点検手法

設計部橋梁構造課係長 片山直道

BCP（業務継続計画）訓練を実施 10月18日



当社は、南海トラフ地震を始めとする大規模災害が発生したことを想定してBCP（業務継続計画）を策定しており、年一回、全社員を対象としてBCP訓練を実施している。

- ✓ 最初に、BCP委員会により「東日本大震災の事例を通じた発災時の初動行動に関する教育講義」を実施。
- ✓ その後、非常用電源に切り替え、各班に分かれてそれぞれの初動行動をマニュアルに沿って確認。
- ✓ 今年はグループディスカッションの時間をとり、防災に関する日頃の備えをテーマに対策を深掘りした。

第30回四万十川ウルトラマラソン

10月20日



当社は2011年の第17回からスポンサーとして協賛させていただくとともに、ボランティアとして協力させていただいている。選手としては、100kmに吉田直起、60kmに西川徹と尾崎勝彦が完走した。



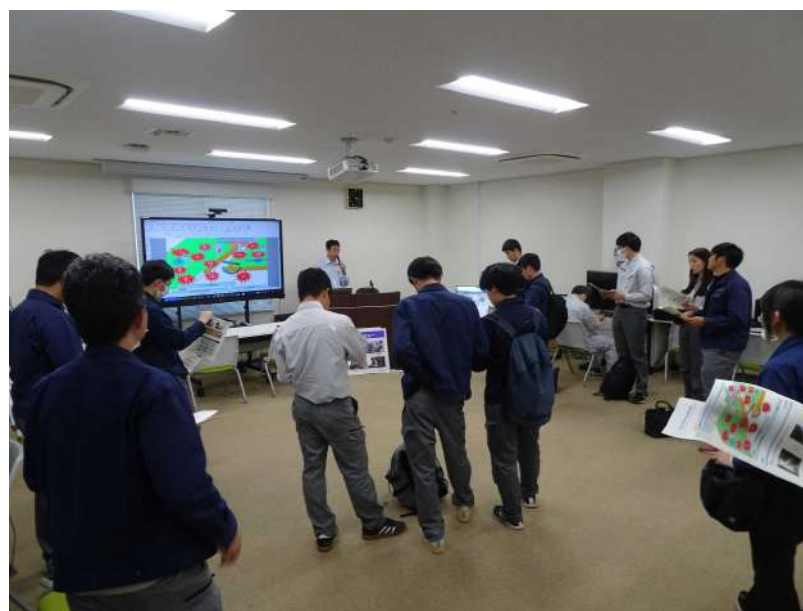
高知県測量設計業協会の研修旅行に社員25名参加 10月21日



四国地方整備局四国技術事務所を訪問。当社からは、入社5年以内の若手社員25名が参加。

LiDARスキャナにより取得したデータを元にCADソフトで自動断面図の作成や自動土量計算の体験、ドローンシミュレーターによる操作体験や三次元点群データにより作成された仮想空間の体験など、最新技術を駆使した貴重な体験ができました。

また、実物大の堤防に発生した変状や損傷を間近で見ることや、仮想空間で作成された樋門の点検をゲーム形式で行える体験ができた。



日本国土調査測量協会70周年四国地区記念式典で ソクジョの富永莉香が講演 10月31日



日本一のソクジョを目指している調査測量課の富永莉香が「文系女子、ソクジョになる」と題して講演。祝賀会では、3次元計測機器を用いた測量に対する質問をたくさんいただいた。

介良中学校で避難所の開設訓練を指導 11月21日



段ボールベッドの組み立てを指導



段ボールパーテーションや簡易トイレの組み立て

8月8日には宮崎県沖の日向灘でマグニチュード7.1、最大震度6弱の地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が初めて発令された。
昭和南海地震から78年が経過した。南海トラフ地震がいつ発生してもおかしくない。

介良中学校の3年生に避難所の開設から避難者の受け入れまでの訓練を、防災まちづくり課の4名が指導した。

ネパール地盤工学主催「GeoMandu2024」で西川徹と北村 暢章が能登半島地震災害について発表 11月28～29日



ネパールのカトマンズで、ネパール地盤工学会主催の「持続可能なインフラストラクチャのための地盤工学」と題した国際学会があり、ネパール、インドを中心に、カナダ、台湾、香港など約500名の技術者が集まって、活発な議論が行われた。

当社からは、地盤技術部西川徹部長と地盤調査課の北村暢章係長が出席し、ポスターセッションで、A Field Study on Effects of the 2024 Noto Peninsula Earthquake (令和6年能登半島地震の地盤災害に関する現地調査報告)について発表した。



親子de学ぶ 防災＆お金セミナー 12月8日



セミナーの最後に参加者で記念撮影

高知丸高、高知銀行、第一コンサルタンツの共催で「親子de学ぶ 防災＆お金セミナー」を開催し、多くの皆様に参加いただいた。

調査測量課の富永莉香が、防災とドローンについて講演。また、酒井寿彦部長と宮崎健太がドローン飛行の実演を行った。ドローンの着陸時には多くの参加者から拍手をいただいた。



防災ドローンの講演をする富永莉香

令和6年の「第一セミナー」の講師



神谷正光



矢田部龍一



依光隆明



岡村 眞



大石 宗



樋口美加

3月19日 社内木鶏会について

致知出版社 神谷正光

4月1日 土木技術者の気概

愛媛大学名誉教授 矢田部龍一

4月1日 考えることは生きること

ジャーナリスト 依光隆明

7月6日 近づく南海トラフ地震に備える

高知大学名誉教授 岡村 眞

9月21日 つながる高知の物語

高知県議会議員 大石 宗

12月27日 心が現実を作る

ダンサー・振付師 樋口美加



DAI-ICHI
Consultants Co. Ltd.